

古田肇知事に杭州アジア大会の銅メダルを披露する今井月選手(左)＝県庁



今井選手 五輪出場へ決意

県庁訪問 派遣記録突破狙う

杭州アジア大会(9月・中国)の競泳女子200メートル平泳ぎで銅メダルを獲得した今井月選手(23)＝パロIH DⅡが14日、県庁に古田肇知事を訪ね、パリ五輪出場に向けて決意を語った。

今井選手は岐阜市出身。岐阜西中学校を卒業後は強豪の豊川高校(愛知)、東洋大に進んだ。杭州アジア大会では150メートルを4番手で通過すると、最後の50メートルで一つ順位を上げる追い上げを見せた。

県庁では古田知事に「本当は金メダルがよかった」と悔しがりつつも、持参した銅メダルを披露。今季については「納得のいく泳ぎはまだできていないが、久しぶりに日本代表に戻れたことは来年につながる」と前を向いた。

来年3月のパリ五輪代表選考会で、派遣標準記録の突破を目指す。2016年リオデジャネイロ大会以来の五輪出場に向けて「しっかりと優勝した上で代表に入り、自信を持ってパリに臨めるよう準備したい」と話した。

(浜田悠)